

話そう、働こう、育てよう。いっしょに。



第1部 基調講演

老若男女の参画社会へ 生活保障の新しいデザイン

講師

宮本 太郎 (みやもと たろう) さん
[北海道大学法学部教授]

「皆が活躍できる国づくりの成長戦略として男女共同参画社会は重要であり、一人ひとりの社会文化のありように関わっている。誰もが働ける条件づくりを展開してきたス

ウェーデンなど北欧諸国に注目し、良いところを日本の地域社会に取り入れたい。強い経済は強い財政を生み『強い社会保障』『強い共同参画社会』につながる」と述べました。

第2部 パネルディスカッション

話そう、 働こう、 育てよう。 いっしょに。

パネリスト

河野 真矢子 (こうの まやこ) さん
[キリンアンドコミュニケーションズ株式会社代表取締役社長]

成澤 廣修 (なりさわ ひろのぶ) さん
[東京都文京区長]

山下 由美 (やました ゆみ) さん
[農業者(愛媛県宇和島市)]

コーディネーター

山本 恵子 (やまもと けいこ) さん
[NHK名古屋放送局報道部記者]

男女共同参画社会への進め方について、それぞれの立場で意見を交わしました。

▶ 企業戦略として女性の育成・活動支援に取り組んできた河野さん—

多様な価値観の人が議論して進めていくことが組織を強くするので、トップのコミットメントや女性社員自らの意識改革(昇進は自分自身の成長につながる)が重要だ。

▶ 自治体首長初の育休を取得した成澤さん—
共同参画は意識の問題だと思う

が、さらに出産・育児の問題を解決しないと進まない。制度的には拡大しているが職場環境づくりや家庭での話し合いが大切で、自然体でできることから始めるのがいいのではないかと。

▶ 7年前に農産物加工施設を起ち上げ、現在は米粉パン販売に挑戦している山下さん—

私から変えていくという気持ちで働く姿を見せることで周りの理解が得られる。地域を動かしていくのは女性だと確信しているので、ネットワークを広げ地域再生につなげたい。

第9回福島県男女共生のつどい in 会津若松

2010年6月26日(土) / 會津風雅堂



社会参画と生活の調和



みんな笑顔のハッピーチャレンジ

歴史織り成す会津からの新しい風「社会参画と生活の調和～みんな笑顔のハッピーチャレンジ～」をテーマに開催され、交流会の設定、広告の一切ない大会パンフレット、在庫利用の団扇などに会津人の心意気を感じられました。

講演では、評論家の樋口恵子さんが「素敵に今を生きるために」と題し「男女共同参画社会基本法が制定されて11年、日本も世界も新たな時代に入っている。法が整ってきた今、変えるものと変えないものを見極め、向かい風の人生を恐れず皆で進もう。キーワードは『ダイバーシティ』(多様性)。人生100年社会では世代的多様性や世代間交流を大事にし、人間としての知恵を生かしていくことが大切だ」と語りました。